

同意書

相武台脳神経外科クリニック 院長殿

禁忌 G6PD欠損（低下）症 活動型心不全 高度の腎不全・透析
慎重投与 腹水貯留 胸水貯留 リンパ浮腫 頭蓋内腫瘍
併用禁忌薬剤 メトトレキサート内服 ベルケイド内服
以上の禁忌事項に該当しない
例外事項 上記は原則である

私は、平成 年 月 日より実施される相武台脳神経外科クリニックにおける診療について＜説明書＞高濃度ビタミンC点滴療法についてに基づき、医師から十分な説明を受け、よく理解し納得いたしましたので、診療を受けることに同意いたします。

また診療実施中に緊急処置の必要性が生じた場合、適切な処置を受けることも承諾同意いたします。その費用も負担することを承諾同意いたします。

検査についても、上記同様に承諾同意いたします。

下記患者は、相武台脳神経外科の「自分の体に向き合う」という理念をご理解いただき、ビタミン点滴終了後、少なくとも1ヶ月は当院の自律神経調整法の継続、ゆびもみ手帳の記載を行うことを承諾する。

平成 年 月 日
患者様署名
住所
電話

親族または理解補助者（父母・配偶者・兄弟姉妹等）
氏名
住所
電話

注：提供された同意書は、診療前にいつでも撤回できますのでお申し出ください。そのような場合でも当院において不利益を受けることは一切ありません。

平成 年 月 日
私は上記の説明に基づき、お客様に対する診療についてご説明いたしました。
説明医師署名

診療録控

<説明書>高濃度ビタミンC点滴療法について

1. 「高濃度ビタミンC点滴療法」はガンの補助療法の一つです。この治療法は主にアメリカで研究されている試験的な治療法です。一般的に健康保険の範囲内のビタミンC点滴は1回2グラムです。本治療では1回50グラムのビタミンCを点滴します。最初は15グラムから始めて徐々に増量していきます。週に2回の約90分の点滴治療が基本であり、病状によって点滴の回数・頻度は変わります。点滴治療をしない日はビタミンCとマルチミネラル・ビタミンの服用を推奨します。また、喫煙習慣をなくし、有機野菜や玄米等の健康的な食事や運動を含めたライフスタイルの改善が必要です。相武台脳神経外科の「自分の体に向き合う」という理念をご理解いただき、ビタミン点滴終了後、少なくとも1ヶ月は当院の自律神経調整法の継続、ゆびもみ手帳の記載を行うことを承諾していただきます。
2. ガンの治療は手術、抗ガン剤、放射線療法などの既に治療効果が証明されている標準的な治療法が多くあります。「高濃度ビタミンC点滴療法」は代替医療のひとつであり、このような既に効果が認められている標準的治療法よりも優先するものではありません。また、ガン専門医の全てがこの治療法を支持・賛同しているわけではなく、否定的な意見もあります。
3. 本治療ではガンに罹患した患者様が(1)標準的ガン治療法と併用する (2)有効的なガンの治療法が確立されていない (3)これまで受けてきた基準的な治療の効果が減弱 (4)副作用など何らかの理由で既存の標準的な治療を受けることができない場合に「高濃度ビタミンC点滴療法」を推奨しています。
4. 本治療法の副作用は非常に少ないといわれています。血管穿刺部位の痛み、頭痛、吐き気などの症状が起きることがありますが、点滴速度を緩徐にすることで多くは解決されます。また、ガンが壊死を起こした場合に、そこに出血を起こすことがまれにあります。他にG6PD欠損症による溶血クリーゼ、腫瘍壊死・出血、発熱、嘔吐、低カルシウム血症、打撲など既往部位の内出血、低血糖などを起こす可能性があります。
5. 腹水貯留、胸水貯留、リンパ浮腫、頭蓋内腫瘍は改善するケースも悪化するケースもあります。併用禁忌の薬剤としてはメトトレキサート、併用投与の回避薬としてベルケイドがあります。
6. 「高濃度ビタミンC療法」の禁忌はG6PD欠損（低下）症、活動型心不全、高度の腎不全・透析です。
7. 本治療では健康保険が適応されず、治療、検査、処方全てが保険外診療となります。
8. 「高濃度ビタミンC点滴療法」の効果はガンの種類、進行度、お客様の年齢、体力、免疫力によって異なります。この治療法は実験的な段階であり、ガンの縮小・消失・延命を確約することはできません。